

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000063"/>	整理番号 <input type="text" value="11644"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="時効硬化特性を示す高比強度マグネシウム"/>		
技術分野	<input type="text" value="金属材料"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="アルミニウムの代替品、鉄鋼材料の代替品"/>		
目 的	<input type="text" value="地球温暖化問題から軽量、かつ室温および高温で高い機械的強度を有する材料の開発が望まれている。純マグネシウムの強度を向上させる方法には、溶解・鋳造法で合金を作製する方法が一般的に行われている。しかし、このような従来法では工程が煩雑なことや溶解する必要がある、マグネシウムの燃焼といった危険を伴う。本発明では高価なレアアースを添加せず、粉末冶金法によって高い強度を示す材料の創成を目的とした。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本発明では、要求に対応する新たな純マグネシウム材料を作製した。すなわち、粉末を出発材料とする粉末冶金法に着目し、純マグネシウム粉末を機械的に混合した混合粉末を放電プラズマ焼結法によって固化成形した。固化成形された純マグネシウムは、比較的高い硬度を有する。この材料に対して、熱処理を施すことで時効硬化現象を発現させ、通常の高強度マグネシウム合金等同等レベルの特性を得るためのプロセスを見出した。"/> <input type="text" value="本発明では高価なレアアースメタルを添加する必要がなく、時効硬化現象が単純な熱処理のみで発現することを見出した。本技術は、純マグネシウムの強度レベルを高めるプロセス条件を提案するものである。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp